

2021 年度 東京藝術大学大学院映像研究科の受験生への要請事項

(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止) について

2021 年度東京藝術大学大学院映像研究科入試（修士課程・博士後期課程）では、募集要項において、「新型コロナウイルス感染症」に関する注意事項を掲載している（修士課程：4-3（28 頁）、博士後期課程：4-2（16～17 頁））が、試験場における感染拡大を防止し、受験者自身が安心して受験できる環境を確保していくためにも、**募集要項に掲載の内容に限らず、受験生等は以下の事項を遵守すること。**

【受験できない者・受験の取り止め】

- ・新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者は受験できない。
- ・発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者については、次に示す条件のもと、受験できる場合があることから、受験前に大学に問い合わせる受験の可否を確認すること。
 - ①初期スクリーニング（自治体によるPCR検査及び検疫所における抗原定量検査）の結果、陰性であること（検査結果が判明するまでは受験不可とする）。
 - ②受験当日も無症状であること。
 - ③公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に行くこと。
 - ④終日、別室で受験すること。

【試験前日までのお願い・連絡事項】

- ・試験日の2週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験生はあらかじめ医療機関での受診を行うこと。
- ・試験日の7日程度前から朝などに体温測定を行うこととし、体調の変化の有無を確認すること。
- ・試験会場には昼食を持参し、自席又は指示された場所で、あらかじめ指定された時間内に食事をとること。
- ・他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことが望ましい。
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（C O C O A）のダウンロード：「新型コロナウイルス接触確認アプリ（C O C O A：COVID-19 Contact Confirming Application）」は、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けることができるものであり、その後の検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができることから、これを活用することが望ましい。なお、通知を受けたことが直ちに濃厚接触者であることを意味するものではないことに留意すること。

【試験当日における対応】

- ・何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、あらかじめ大学に申し出ること。